

世界中から愛されているウィーン・フィルの
 トップ・メンバーで組織される、
 コントラバスが入った“異色”の人気アンサンブル。



- ◇アルペナ・ダナイローヴァ (第1 ヴァイオリン)
- ◇ウィーン・フィル史上初の女性コンサートマスターとなった話題のヴァイオリニスト
- ◇ライムント・リシー (第2 ヴァイオリン)
- ◇ミヒャエル・シュトラッサー (ヴィオラ)
- ◇ヨーゼフ・ニーダーハンマー (コントラバス)

アンサンブル・ウィーン

ウィーンのとっぴメンバーが贈る、華麗なるウィーンナ・ワルツ

2013年 6月30日(日)

開演時間/15:00(開場時間14:30)

会 場/茅ヶ崎市民文化会館 大ホール

全席指定(税込) / A席5,500円 B席4,000円 学生席2,000円

※未就学児の入場はご遠慮下さい

聴く者を虜にする、シュトラウス、ランナーのウィンナ・ワルツ、ポルカのほか、
 ドイツ舞曲、メヌエットなど質の高いプログラムはウィーン楽友協会の定例コンサートが
 毎回売り切れとなるほどの人気です。

ウィーンっ子たちが愛してやまない、シュトラウス親子の華やかなワルツ、
 ポルカをたっぷりとお楽しみください。

「予定曲目」

モーツァルト:「フィガロの結婚」、「ドン・ジョバンニ」、「魔笛」より序曲、有名アリアなど

ヨーゼフ・ランナー: シュタイアー風舞曲 op.165
 タランテラ・ギャロップ op.125
 ヨハン・シュトラウスII世: アンネン・ポルカ op.117
 ワルツ・南国のパラ op.388
 ジプシー・ギャロップ op.108

4つのタンゴ:

チャルロ: フェージェ...(蛇腹)
 エクトル・バレラ & アルベルト・ネリー: EL58
 マリアーノ・モーレス: ラ・カレシータ(回転木馬)
 エンリケ・フランチャーニ: 「ラ・ヴィ・ジェガール(やってきた女)」

茅ヶ崎市民文化会館へのアクセス: JR東海道線・湘南新宿ライン(茅ヶ崎駅北口徒歩約8分)
 周辺道路混雑のため、なるべく公共交通機関をご利用ください。

主催: 茅ヶ崎市楽友協会 <http://www.chigasaki-psc.org> 共催: (財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 <http://www.chigasaki-arts.jp/>

◆予約・お問い合わせ
 茅ヶ崎市楽友協会 0467-82-3744
 茅ヶ崎市民文化会館 0467-85-1123

◆プレイガイド
 茅ヶ崎市民文化会館 0467-85-1123
 川上書店茅ヶ崎ラスカ店 0467-87-3826
 長谷川楽器店本店 0467-85-1725
 イトーヨーカ堂茅ヶ崎店 0467-85-1111
 湘南リビング新聞社 0466-27-7411

託児サービス

対 象: 0歳児~小学校3年生 お子様1人につき1,000円
 (0~1歳 2,000円)
 時 間: 公演30分前~公演終了まで
 お申込み: イベント託児・マザーズ
 0120-788-222(月~金10:00~12:00, 13:00~17:00)
 公演1週間前まで受付。定員になり次第締め切ります。
※公演当日のお申込みはできませんので予めご了承下さい。

アンサンブル・ウィーン

～ウィーンのトップ・メンバーが贈る、華麗なるウィーナ・ワルツ～

チェロの代わりにコントラバスが入った“異色”の人気アンサンブル。“異色”と言っても、響きの違いだけではなく、モーツァルトのディヴェルティメントやハイドンの初期の弦楽四重奏曲のように、この形はまた“オリジナル”でもあるのです。

聴く者を虜にする、モーツァルト、シュトラウス親子のウィーナ・ワルツ、ドイツ舞曲など、アンサンブル・ウィーンのために編曲された曲と合わせた質の高いプログラムをお楽しみいただけます。

コントラバス奏者を除いたメンバー3人は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のトップ・プレイヤーとして活躍しています。定例になっているウィーン楽友協会ブラームス・ザールでのコンサートは毎回売り切れとなる人気公演の一つです。ザルツブルク音楽祭、ウィーン芸術週間や祝祭週間、ベルリン芸術週間などのフェスティバルに定期的に参加し、アムステルダム、アテネ、ケルン、ミュンヘン、パリなど、ヨーロッパ各国の主要ホールをはじめ、アメリカのカーネギー・ホール、リンカーン・センターなどでもコンサートを開催。ホセ・カレーラス、プラシド・ドミンゴ、バルバラ・フリットリ、アンゲリカ・キルヒシュラーガーなど、世界的歌手とも共演しています。TVでもその演奏は放映され、ウィーンはもとより、ヨーロッパを越え、いま世界的にその知名度を上げています。CDへの録音も多く、数多く発売され、好評を博しています。

Profile



アルベナ・ダナイローヴァ Alvena Danailova(第1ヴァイオリン)

ソフィア(ブルガリア)生まれ。5歳でヴァイオリンを始め、ロストック音楽大学、ハンブルク音楽大学でペトル・ムンテアヌ教授に師事。バイエルン州立歌劇場、ロンドンフィルでコンサート・ミストレスを務めた後、2008年よりウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサート・ミストレス、2011年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団初のコンサート・ミストレスに就任した。ソリスト、室内楽奏者としても活躍しており、世界の主要な音楽祭、コンサートホールに出演している。楽器は1728年製のガエルネリ・デル・ジェスを使用している。



ライムント・リシー Raimund Lissy(第2ヴァイオリン)

ウィーン出身。ウィーン国立音楽大学で、トマス・カークシュカ及び、アルフレッド・シュタールに師事。1988年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。91年、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーとなり、93年から第2ヴァイオリンのリーダーを務める。



ミヒャエル・シュトラッサー Michael Strasser(ヴィオラ)

グリースキルヒェン生まれ。7歳よりヴァイオリンを祖父のフーベルト・クロイザマーの下で学ぶ。リンツ・ブルックナー音楽院を経て、ウィーン国立音楽大学にてヴィオラをハンス＝ペーター・オクセンホファーに師事。2003年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、その3年後、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーとなった。室内楽の分野で活躍すると共に、後進の指導にも熱心に取り組んでいる。



ヨーゼフ・ニーダーハンマー Josef Niederhammer(コントラバス)

リンツ生まれ。ウィーン国立音楽大学にてルートヴィヒ・シュトライヒャーに師事。在学中からウィーン・フォルクスオーパー及び、ウィーン交響楽団で活躍。その後、バンベルク交響楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団のソロ奏者を経て、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ奏者を務めた。現在、ウィーン国立音楽大学教授。

